

図書館だより

9月号

令和5年 9月22日
横浜市立山田小学校
司書教諭：斎藤裕美
学校司書：村山浩子

★毎月23日は市民読書の日。図書館だよりはその前後に配信しています。★

4年生が授業でつくった作品を展示しています

9月の図書館では、4年生が国語の時間に作った「ノンフィクション（事実をもとに書かれた本）」を紹介する『帯（本にまくかたち）』と『ポップ（小さな看板のかたち）』を順番に飾っています。

ふだん読まない分野の本を一生けんめいに選ぶところからがんばった人も多く、力作がそろっています。いっしょに飾ってある本は個人のもの以外はかりることができます。いつもは物語が好きな人が、ちょっとちがうタイプのものを読みたい時の本選びの参考にしてもらえるとうれしいです。

<作品は期間をきめてかざっています。一部ですが紹介します>



4年1組



2組



3組

図書館利用状況 9月1日～21日(14日間)※昼休みがない8日間含む

来館者（休み時間）524人 貸し出し数（授業中含む）469冊【1日平均37人/34冊】

今月のおすすめの本

『月でたんじょうパーティーをひらいたら』

ジョイス・ラパン著、シモーナ・チェッカレッリ絵 廣済堂あかつき

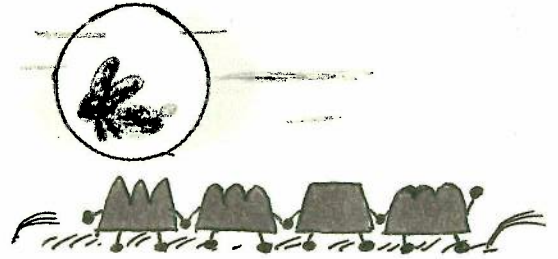


今月29日は満月、お月見です。図書館でもいろいろな月の本をコーナーに集めていますが、この本は「ファンタジーの科学絵本」という、ほかとはちょっとちがう味わいの本です。

月まではどのくらいかかるの？宇宙船での生活は？からはじまって、「へー！」と思うことがかわいい絵でつぎつぎにできます。

月で「まる一日」パーティーをやると地球の時間ではどのくらいなのか？これにはびっくりしました。正解は…図書館でおしえますね。

月の話



今月のおすすめ本でも月をテーマに紹介しましたが、むかしから世界中で愛されている「月の話」は図書館にもたくさんあります。

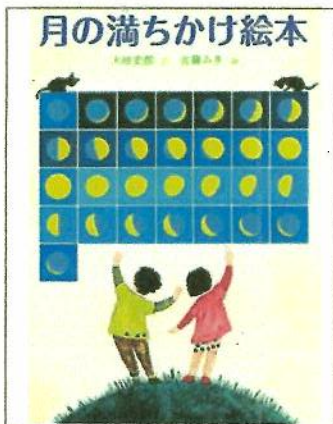
すてきな童話や絵本が多い月の話ですが、ここではすこしちがう見方で月の本を紹介しします。

月のもようクイズ

突然ですが、ここでクイズ！
月に見えるカゲのようなもようは場所によって何に見えると言われているのでしょうか。

(正解は一番下にあります。)

- ① 日本・韓国などでは？ ② 南ヨーロッパでは？ ③ 北ヨーロッパでは？



おねえだしろろう
大枝史郎著 佐藤みき絵
あすなろ書房

この月のもようのはなしは「月の満ちかけ絵本」にのっていました。

(もっとたくさんの例がのっています。みてください。)

本のなかみは地球と月との関係など科学的なことをわかりやすく説明しているのですが、「三日月」「立待月」などの月のよび方やお月見の話なども書かれていてふりがなもあるので、低学年から読めます。

同じように科学的な説明をかわいいイラストで読ませるのが「月のきほん」。なぜスーパームーンは大きく見えるか？などが図解いりでのっています。ただしこちらは字が小さくややむずかしいので、高学年以上におすすめです。



しらおちとまる
白尾元理
せいぶんどうしんこうしゃ
誠文堂新光社

さて、月はむかしから人々にふしぎな力を感じさせたようです。

それがわかるのが、かぐや姫のものがたり。5年生の国語で「竹取物語」としてすこしだけでできます。

まだ月がどんなところかを知らない1000年も前の人たちは、竹から生まれて、最後は月にかえる美しい姫のおはなしをどんな思いで書いたのでしょうか。そんな想像をするのも楽しいかもしれません。

4年生ででてくる百人一首にも月のうたはたくさんあります。

「つきみれば ちぢにもこそ かなしけれ わがみひとつの あきには あらねど」…月を見て、何をおもいうかべてかなしくなったのでしょうか。

秋は月を見上げていろいろなことを考えてみるのにいい季節ですね。(もうすこしすずしくなるともっとうれしい…)



【クイズのこたえ】①もちをつくウサギ ②大きなハサミのカニ ③本を読むおばあさん